

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会
'06・5

2006年(平成18年)5月28日発行
〒112-0002 東京都文京区小石川4-2-1
東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

「挨拶」 会員の皆様へ

東京学芸大学附属竹早中学校 同窓会会長 古谷 顯史郎



同窓会会員の皆様には、ご健勝にて、ご活躍のことと存じます。

母校、竹早中学校は、現在の教育基本法が第一条で目的とした「教育は、人格の完成をめざし、平和な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない」を教育の使命として、昭和二十二年四月に創立されて以来五十九年の歴史と伝統を持ち、同窓会も一万四百名余りの会員数となりました。来年には創立六十年を迎える事となります。

昨年は、運動会・卒業式に出席致しましたが、現役の中学生諸君のはつらつとした姿を見て、自分の中学生時代を思い出しながら、良い学校を卒業したとの感を強く持ちました。新しいキャンパスも年々風格が出てきております。

今年の活動は、名簿委員会を中心に、各委員の協力と、皆様のご協力を得て、新しい名簿を来年発行する為に、本格的に活動して参ると同時に、創竹会とも連帯して、母校の教育環境改善に協力していきたいと考えております。

本年は、二十八期の皆様のご協力頂き、七月一日(土)に総会を予定しております。多くの皆様に参加して頂きますようお願い申し上げます。

また、昨春秋、第一期卒業の大場元同窓会会長がお亡くなりになりました。大場元会長からは同窓会の創成期に、追分・竹早両中学校の合併時に色々問題があり、大変苦勞されたとお聞

きして頂きましたが、鈴木英二先生より心温まる追悼文を寄稿して頂きました。有難うございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

我国でも教育憲法である教育基本法の改定が国会で取り上げられます。「愛国心」「公共の精神」「伝統と文化」の取扱い「義務教育9年の規定削除」ほか「生涯学習」「家庭教育」「私学学校」等の条文が追加されると聞いております。

この様な時期を乗り越えるためにも、母校の教育目標の原点である、想像力・自主・自律性を養う事を基本に、今日までの伝統と実績に自信を持って、教育改革を実践して頂きたいと切に希望致しますと共に生徒諸君には間違さを忘れずにのびのびと充実した中学校生活を送って頂きたいと思っております。

18年度同窓会総会のお知らせ

○日時 平成18年7月1日(土)午後1時30分より受付開始

第一部 総会 午後2時00分から午後2時30分まで

第二部 懇親会 午後2時30分から午後4時00分まで

○会場 竹早中・小1階ランチルーム

○会費 一般 2000円

大・高校生 1000円

○ご招待 現・旧職員の方々

新会員57期生(平成18年卒業のみなさん)

○催し物 「江戸の売り声」宮田章司師匠をお迎えして、「金魚屋」「七味唐辛子売り」などの楽しく懐かしい売り声をお楽しみください。

○総会担当幹事は第28期(昭和52年卒業)が担当致します。28期同期生、来年度幹事担当の方々は誘い合わせの上、多数ご出席ください。

○ご出席・欠席を同封のがきで6月19日までにご連絡ください。

平成十七年度を振り返って

学校長 下條 隆嗣



今春、一六七名の生徒が元気に本校を巣立ち、そして代わりに一六八名の新入生を迎えました。

本校は平成十九年度に六十周年を迎えますが、その伝統を保持しつつ、一方で時代に適応すべく少しずつ変身しております。

平成十七年度は、大きな事故や地震もなく比較的平穏な一年間であったといえます。文化研究発表会における合唱コンクールや自由研究・卒業研究の掲示も従来通り継続されております。また、平成十七年度は国立大学の法人化二年目でありましたが、法人化以降、附属学校の点検・評価が明確に位置づけられ、その存在や活動に対する説明責任も以前よりも強く求められるようになりました。

一方、法人化以降、東京学芸大学では国から大学への運営費交付金の減少に伴い、今後数年間に五十、六十名の教職員の削減を余儀なくされる模様であり、教育研究組織の再編の動きも始まりました。この動きに関連して、本校も遠くない将来により基本的な面で何らかの変動を経験することが危惧される所です。こうした状況下で、本校は存在意義を世に訴えるためにも、一層、教育力を高め、教育研究を推進する覚悟であります。

平成十七年度においては、ここ竹早地区にある附属竹早幼稚園・小・中学校が過去

三年間以上取り組んできました「主体性を育む幼・小・中連携の教育」についての研究発表会を幼・小・中共同で十一月に開催し、盛会の内に終了しました。本校では同名の表題の「研究集録」を発行しました。この研究は今後も継続して参ります。

平成十七年度末から十八年度始めにかけて、例年のごとく、教員の移動等がありました。個人情報保護の観点から個人名の記述は控えさせて頂きますが、本校に永年勤務された英語担当のI教諭が本学附属高等学校(世田谷)へ、また数学担当のY教諭が本学附属世田谷中学校へ移動し、保健体育担当のI教諭が一身上の都合により退職されました。また新たに英語担当のS教諭、国語担当のT教諭、保健体育担当のY教諭、数学担当のI教諭が本校に赴任致しました。人事交流で他校に一年間出向されていた美術科のA教諭も、K教諭と交代で本校に戻りました。非常勤講師の方々や事務職員についても移動がありました。また本校の理科担当のS教諭は、東京学芸大学連合学校教育研究科(博士課程)から、本年三月、めでたく教育学博士号を授与されました。

本校では、帰国生徒を毎年定員十五名の枠で受け入れ、一般生徒との混合教育を実施してまいりましたが、平成十七年度は本校における帰国生徒の受け入れ開始から三十年目でありました。この間、帰国生徒を取り巻く環境は大きな変容を見せましたが、本校の帰国生徒教育も徐々にその変容に対応して参りました(本校「研究紀要」第44号)。その他、平成十七年度には、入学試験における「抽選」の廃止と「面接」試験の導入、特別教育三教室へのエアコン設置

などがありました。ときどき、同窓生の皆様より、ご挨拶状などを賜りまして感激致します。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

竹早中における「主体性」の育成

副校長 池田 正雄



自分からやるべきことを見つけて、ただ指示を待って、言われたことだけをやる人という意味合いの「指示待ち族」という言葉が流行ってだいぶ経ちますが、先日新聞を読んでみますと、「主体性に自信」の大学生は3割、求人企業と大きなズレという見出しに目が止まりました。これは4月16日付けの朝日新聞で、読まれた方も多いとは思いますが、記事の内容は次のようなものでした。

——「就職活動中の大学生で「主体性」に自信がある学生は3割弱にとどまる一方、8割以上の企業は「主体性」を求め、採用企業と学生の意識に大きな隔たりがあることが経済産業省の調査でわかった。同省は、こうしたずれがニート急増の一因とみて、今後、大学や企業と共同で教育手法の改善に取り組み考えだ。——(中略)——「主体性」や「実行力」など12項目で、企業には新入社員に求める資質を、学生には自信がある資質を選んでもらった。質問文では、「主体性」の場合、「自らやるべきことを見

次の日本をつくる新しい教育のあり方を、教職員一同真剣に求めて参ります。今後ともこれまでと変わらませぬ御協力をお願い申し上げます。

つけて積極的に取り組む」と定義した。その結果、「主体性」に自信のある学生は28%で、12項目の中で下から3番目。一方、「主体性」を求める企業は84%と最も多かった。「実行力」も企業の81%が求めたが、自信がある学生は35%、「課題発見力」も企業の79%に対し、学生は39%と差が目だった。

「主体性」「自主性」などは性格や個人差もあると思いますが、社会生活を営んでいく上で大切な資質であり、子どもの頃から育てていきたい資質の一つと考えられます。本校の教育目標の一つに「自ら求め、考え、表現し、実践できる生徒を育てる」がありますが、これはまさに「主体性」の育成をねらったものであり、21世紀の国際社会を担っていく子どもたちにぜひ身につけてもらいたい資質であります。

本校ではあらゆる教育活動を通し「主体性」の育成をめざしていますが、特に、力を入れていくものに自由研究、卒業研究があります。授業で培った基礎・基本を土台に自らの研究課題に取り組むことは、学習意欲の向上につながるばかりでなく、「主体性」の育成にもつながるものと考えられます。また、運動会、文研、校外学習などの行事では、担当教員の指導のもと、生徒が企画・運営の多くの部分を主体性を発揮しながら積極的に取り組む姿が見られます。この記事を読んで、一般的には最近の若

者に「主体性」の低下傾向が見られるかも知れませんが、竹早中で学んだ子どもたちには「主体性」が育つていると確信しております。

☆

最後になりましたが、昨年度の総合的な学習の時間に、特別講師として同窓生の井

大場秀夫君の御逝去を追悼する

鈴木 榮二

昭和二十二年（一九四七）の終戦後の学制改革による六三制の実施により、竹早附属中学校が創立して、早や六十年を迎えようとしている。

大場君は、その第一回の卒業生である。私は教頭職を拝命し、大場君の学級担任をも任命された。いわゆる新制中学校は、今までにない新時代の男女共学制をとり、教科の内容も新しく研究され、自由研究の授業が試みられた。大場君は、その授業で大活躍をした記憶がある。学級の中心的存在となり、級の人気を一身に集めておられた。また、当時、まだ戦後の映画界が復活途上であったが、彼は映画鑑賞に熱中し、映画館にお小使いを投入して通っていたようである。（私もそれを認めていたが）将来映画監督を夢見ていたようである。彼が都立小石川高校から日芸芸術学部への進学コースを歩んだのも、そのためだったろうと思われる。しかし、その志は、実現できずに、家業の水産業を継ぎ、築地の魚河岸に身をおくようになったが……。

同窓会の方は、彼の信望と、面倒見の良

上真也氏（36期）、森万見子氏（44期）より、働くことの意義や職業選択についてご講演をいただきましたことをここに報告するとともに、両氏に厚く御礼申し上げます。

同窓生の皆様、これからも母校竹早中学校に暖かいご支援、ご声援をいただければ有り難いと存じます。

さから、初代の会長に推されて活動するようになった。昭和二十九年、附属追分中学校との合併の際には、大変腐心されたようであるが、彼の人的な寛容さを發揮して、よく難関を乗り越え、大同団結して同窓会をまとめ上げ、今日の礎石を築き上げた功績は、大いに評価されよう。

また、補佐役として、二期生の田中元次君が尽力されたことも大きな力となっている。

この大場、田中の名コンビで同窓会名簿の企画構成から編集出版の難事業が完成したのは、一大特筆すべきことであろう。晩年、彼は病弱の令息の療養のため、江戸っ子の彼が東京を離れて、信州の上田市に在り住むようになったが、同窓会の運営のために東京、信州間を築く往来しておられたようである。転居して療養介護された御令息も、業石効なく他界されたことを後に知り、心からお慰めを申し上げる次第である。

人気者として級友に親しみ愛され、後輩に慕われた大場君の訃報を知ったのは、昨年の十月半ば過ぎ、親友の権名国雄君からの知らせからである。

た陰に、奥様の内助が大きく反映されていることを、私は心から感銘しておる次第である。

星の住む夜空の許へ雨々と

愛しの君は燃えゆきにけり

創竹会活動状況のご報告

創竹会会長、同窓会顧問 二瓶 好正

新緑の候、同窓会会員の皆様にはお元気で過ごしのことと存じ、心よりお慶び申し上げます。皆様には、常日ごろより竹早中学校教育後援会「創竹会」に対し、暖かいお励ましとご支援を頂きまして、誠に有り難うございます。厚く御礼申し上げます。

皆様ご承知の通り、私共の母校竹早中学校の後援会として「創竹会」が2001年1月に創設され、本年で6年目を迎えております。創竹会は、竹早中学校の教育活動および教育研究活動に協力すると共に支援することを目的とした団体であり、正会員（在校生徒の保護者および卒業生徒の保護者）ならびに賛助会員（本校卒業生および本校元教諭など本会の趣旨に賛同する個人、法人、団体）より成ります。

ところで、本年ご報告すべき第一の事柄は、一昨年より行なってまいりました竹早中学校空調設備整備のための募金活動についてでございます。昨年10月の集計では拠金者653名、拠金団体3団体（同窓会を含む）であり、募金総額は約2100万円でありました。このうち約1800万円を支出し、昨年夏までに普通教室3学年12教室

西の国蓮華の台ありといふ

愛しの君よ安らかに眠り給へ

合掌

の空調を設置いたしました。また、本年入学の正会員よりさらに約500万円のご寄付を頂き、すでに3つの特別教室に空調設備を設置することが出来ました。今後も引き続き新入会員よりのご寄付により、特別教室に空調機設置を進める予定でございます。

ついで、正会員会費の値上げと収支状況についてご報告いたします。正会員の会費は原則入学時に一括払いとなっておりますが、平成18年度からは入金金及び年会費3年分合計で10万円とさせて頂きました。この値上げにも係らず、納入率はほぼ99%でありました。一方本年度は、コンピュータ等教育設備の老朽化に対処するため、当面300万円の特別予算を計上する予定で、予算の検討を進めております。詳しい収支決算および予算については6月の創竹会総会の折りに公表させて頂きます。尚、今後の活動計画としては、竹早中学校の教育環境充実のための新しい事業の企画・推進等に一層の努力を傾注するつもりでございます。創竹会は、同窓会会員と現・元PTA会員が中心となり、竹早中学校を支援するためのものであります。同窓会は後援会活動の支柱でありますので、会員の皆様の一層のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

「道草」の愉しみ

第28期 高木直人

仕事を通じて知り合った友人・知人にはバイク（自転車）好きが多い。単なる好きモノから業界有名人、一昼夜かけて600kmを走破する猛者に元全日本選手権チャンピオンまで、さまざまメンバーが揃っている。彼らの影響を受けて、自分専用のバイクを購入したのが数年前。とはいえ彼らのような本格派とはちがいで、至ってノーマルかつリーズナブルなバイクだ。なにせ連中のバイクときたら、大卒サラリーマンの初任給クラスから、ちよつとした自動車が買えてしまうぐらいの代物。（プロは別として）「妻にはちよつと（金額は）言えない」というのが彼らの本音である。

以前は普段使い以外ではたまに通勤時に乗るぐらいだったが、ここ数年、週末には自転車で「ポタリング」に出かけることが多い。ポタリングとは一般的にはあまり馴染みのない言葉だが、ベストセラー『ハリー・ポッター』シリーズの主人公の名前と同じ綴りの「Porter」のING型で、自転車でブラリと出かける散歩のこと。「ゆっくり行く」とか「ぶらつく」という意味があるそうだ。脚の向くまま、気の向くままに走っては、風景を眺めたりお店を覗いたりして「道草」を愉しんでいる。

住まいが大田区にあるので、都心方面や埠頭の海浜公園など、行き先には事欠かない。その中でも特に気に入っているのは多摩川の川辺を走るコースだ。川風の心地よさ、視界を遮るものがない広い空、そして河原でのコーヒーブレイク。それに加えて川沿いのところどころ

で途中下車しては、街なかのあちこちを覗いて回るのも楽しいルートで、そんなところに魅かれて、かなりの頻度で多摩川に向かっていく。

自宅を出て、第一京浜を西に約10kmで多摩川の六郷橋。ここを右折して「多摩川サイクリングロード」を上流に遡れば、約8kmで中原街道と交差する丸子橋に到着する。

四月初旬、この丸子橋のそばの「桜坂」に立ち寄った。ここは2000年に福山雅治さんが歌って大ヒットした同名の曲のモデルになったところ。当時は大勢の福山ファンや観光客が詰めかけて、自転車はおろか歩くのもままならない状態だったが、最近はかなり落ち着いてきている。とはいえ、桜の季節。大勢の花見客でにぎわっているのは、いずこの桜の名所と同様ではある。

坂を上がり、道に架かっている赤い橋を渡る。橋の中央部で立ち止まり、桜の枝を見上げたその時、ふと私たちが「桜並木」と呼んでいた小石川の坂を思い出した。

竹早中学卒業生の皆さんにとっては旧聞に属することとは思いますが、春日通りの小石川5丁目から坂下の千川通りの（小石川）植物園前までのこの坂の正式名称は「播磨坂」。今は「播磨坂桜並木」の名で、桜の名所として知られている。全長は400mほどなのに、道幅は約40mもあるこの坂は、もともとは月島から赤羽橋までの「環状3号線」計画の一部。当初の計画では三つ目通り、言問い通りから小石川を経て外苑東通りに続く、都内を環状に巡る道路になるはずだったそうだ。

在学時代、文京区の実家から竹早中学まで（正規の通学経路はバス通学だったのだが）、桜の季節には決まってこの坂を歩いてきた。暗れた朝には花びらが青空に映え、とても美しく思ったものだった。

私も含め、ほとんどの竹早中学の生徒は自宅と学校とでそれなりに

距離があるので、こういう「道草」を愉しむ機会に恵まれていたように思う。(校則的にはいかがなものか? は別として) 卒業生の皆さんにも多かれ少なかれこの経験があるのでは、とも。

私の場合、まっすぐ家に帰ることあまりなかったように思う(福岡先生、ごめんなさい)。下校時にも、よくこの坂の上のパン屋さんで飲み物を買って(ごめんなさい)、すぐそばの竹早公園のベンチで休憩したり、隣の小石川図書館で本を読んだりしていた。

ほかにも真砂町の玩具店でプラモデルを物色したり、若荷谷のハンバーガーショップや後楽園のパン屋さんで買い食いしたり。小石川植物園も格好の道草ルートだった。園内の池でザリガニ釣りに興じていて、気がついたらあたりは真っ暗、というようなこともあった。釣りといえば、柳町商店街にほど近い千川通り沿いに屋内の釣堀があった、大きなコイが釣れた時には嬉しくて家まで持って帰り、あわてて水槽を買いに走ったこともあった(この釣堀は随分前に閉店して、寂しく思った記憶がある)。

自宅近くまで戻ってきていても、そこから足を伸ばして池袋、大塚、巣鴨界隈の店を覗きに行っていた。池袋では『新栄堂書店』や『芳林堂書店』といった大きな書店で立ち読みすることが多かった。大塚には職人肌のおやじさんがやっているジーンズショップがあって、ジーンズを好みの形にカスタマイズしてくれるので、よく通ったものだ。巣鴨には今で言う「デイスカウトショップ」ふうのお店があって、何時間いても飽きない場所だった。

別段、特別な「悪さ」をした憶えもないのだが、私の道草癖はこの頃からのものなのかもしれない。徒歩が自転車に変わっても、街なかをぶらつく愉しみに変わりはない。

七月一日には、母校で同窓会が開かれる。時間があれば懐かしいあの坂を、久しぶりにぶらついてみたいと思っている。(在学時にはな

かったと思うが)坂の上には「竹早」という名の由来を書いた看板が立っているはず。たしか江戸時代「笹荷町」の「笹」の字を上下に分けて「竹早」とした、というようなことが記載してあったと記憶している。ここ何年も行っていないが、今行けばきっと新しい発見もあることだろう。「道草の愉しみ」のタネは、ちよっとしたところにも転がっているものだから。

広報部より

同窓会の新しいコミュニケーションの場としてホームページを開設しました。ご利用下さい。

<http://www.takehaya-jhs-dousokai.net/>

「同窓会から」、「母校から」、「創竹会から」、「同窓生から」、「フレッシュアップ」、「掲示板」と「リンク」から構成しています。

皆様が積極的に参加できる形を取り、「掲示板」も設定しましたので、皆様がこれを楽しく活用してくださることを願っております。

「同窓会から」の情報も、会報を補う形でフレッシュな情報をお届けします。

本ホームページは、同窓生同士の情報交流の場です。

同期会の紹介、エッセイや身辺雑記、個展や展覧会のお知らせ、新しいビジネス展開の報告や協力要請、仕事仲間の募集、等々、文化活動やビジネスの情報、自薦他薦のPRなど、情報発信に「同窓会から」をご利用ください。

投稿は左記まで。お気軽にどうぞ！写真、イラストを添えていただければ幸いです。

メールまたは郵便で受け付けています。

○不明な点も気軽に問合せ下さい。

投稿先： tazumi@office.jp

郵便：〒170-0003 東京都豊島区

駒込二丁目1-22

(株)オフィスエム 宅配センター

田上睦美 (33期)

<http://www.office.jp>

平成18年度 予算案(自平成18年4月1日
至平成19年3月31日)平成17年度 会計報告(自平成17年4月1日
至平成18年3月31日)

| 収入の部(円) | | 支出の部(円) | | 収入の部(円) | | 支出の部(円) | |
|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|
| I前年度繰越 | 8,673,725 | III本年度支出 | 3,630,000 | I前年度繰越 | 8,531,507 | III本年度支出 | 3,312,615 |
| 内訳 | | 内訳 | | 内訳 | | 内訳 | |
| 定期預金 | 3,000,000 | 同窓会会報発行費① | 1,900,000 | 定期預金 | 3,000,000 | 同窓会会報発行費① | 1,869,000 |
| 普通預金 | 1,742,054 | 総会開催費 | 500,000 | 普通預金 | 2,772,957 | 総会開催費 | 366,597 |
| 郵便貯金 | 3,789,863 | 常務理事会費 | 70,000 | 郵便貯金 | 2,523,402 | 常務理事会費 | 57,172 |
| 小口現金 | 141,808 | 総務費 | 60,000 | 小口現金 | 235,148 | 総務費 | 49,500 |
| | | 文書事務費 | 10,000 | | | 文書事務費 | 6,453 |
| | | 郵便連絡費 | 90,000 | | | 郵便連絡費 | 82,445 |
| | | 慶弔費 | 30,000 | | | 慶弔費 | 30,000 |
| | | 卒業記念品代 | 120,000 | | | 卒業記念品代 | 111,500 |
| II本年度収入 | 3,250,800 | クラブ活動援助金 | 400,000 | II本年度収入 | 3,454,833 | クラブ活動援助金 | 400,000 |
| 内訳 | | 名簿修正追録費 | 200,000 | 内訳 | | 名簿修正・追録費 | 121,548 |
| 新入会員会費 | 1,650,000 | ホームページ作成費 | 250,000 | 新入会員会費 | 1,670,000 | ホームページ作成費 | 218,400 |
| 同窓会活動支援寄付金 | 300,000 | | | 同窓会活動支援寄付金 | 373,000 | | |
| 維持会費 | 1,000,000 | 差引残高 | 8,294,525 | 維持会費 | 1,032,000 | 差引残高 | 8,673,725 |
| 総会・懇親会会費 | 100,000 | IV次年度繰越 | 8,294,525 | 総会・懇親会会費 | 84,000 | IV次年度繰越 | 8,673,725 |
| 預金利息 | 800 | 内訳 | | 預金利息 | 833 | 内訳 | |
| 名簿売上 | 200,000 | 定期預金 | 3,000,000 | 名簿売上 | 295,000 | 定期預金 | 3,000,000 |
| | | 普通預金 | 3,000,000 | | | 普通預金 | 1,742,054 |
| | | 郵便貯金 | 2,000,000 | | | 郵便貯金 | 3,789,863 |
| | | 小口現金 | 294,525 | | | 小口現金 | 141,808 |
| 合計 | 11,924,525 | 合計 | 11,924,525 | 合計 | 11,986,340 | 合計 | 11,986,340 |

注：(1)送料を含む。

平成17年度同窓会活動状況

- 4月8日(金) 第59期入学式列席(会長、副会長)、お祝い1万円
- 4月9日(土) 常務理事会
- 5月10日(火) フレッシュアップ、慶昌堂 第1回打合せ
- 5月27日(金) 懇親会(校長、副校長、学年担任など7名) 兼常務理事会
- 6月 追録・名簿発行(卒業生に配布)
- 同窓会ホームページを中学から独立
- 6月6日(月) フレッシュアップ発送
- 6月11日(土) 運動会観戦(副会長、お祝い1万円)
- 7月2日(土) 同窓会総会(27期担当)
- 9月24日(土) 常務理事会(追録データ依頼、卒業記念マグカップ注文)
- 10月28日(金) 文化研究会見学
- 11月19日(土) 3年生最終保護者会(同窓会の説明と勧誘、高柳顧問)
- 1月27日(金) 新年会兼常務理事会(後楽園ラクーア)
- 3月11日(土) 常務理事会
- 3月 記念品贈呈式出席(マグカップ、同窓会名簿、追録贈呈)
- 3月14日(火) 第57期卒業式列席(会長、副会長、お祝い1万円)

同窓会ホームページを活用下さい。
<http://www.takehyo-jhs-dousokai.net/>

名簿部より

■同窓会60周年記念 2007年版名簿作成について

来年、19年度総会時の発行に向け、次の通り、最新の個人情報所得と広告記載について準備に入ります。

■個人データ提供のお願い

本年(18年度)総会の返信葉書に、総会出欠の他に会員皆様の個人情報の記載欄(調査カード)を設けて、会員全員に下記の項目について調査を行います。

卒業年次・名前以外の郵便番号・住所・電話番号・ご職業(勤め先)・最終学歴又は通学先については発行される名簿の記載の有無を選択できるようにチェック欄□を用意致しましたので、記載を希望しない場合は✓をご記入下さい。

①外国にお住まいの方は、日本国内の連絡先も併記して下さい。

②仕事の都合上で転勤の多い方などはご住所をご実家でご登録されることをお勧め致します。

記載された情報は同窓会名簿部が管理し、各年次同窓会の開催などに年次委員から要求された場合は、「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」に照らし、合致すれば提供を行います。

※葉書の返信がない場合は、現在同窓会が所有しているデータを記載致しますのでご了承ください。

■名簿発行に当たり広告のご案内

名簿の最後に数ページ広告欄をご用意致します。同窓会会員の皆様のご協力をお願い致します。

| | |
|-----------------------|------|
| A4版 ページ片面 | 10万円 |
| A4版 半分/ページ片面 | 5万円 |
| A4版 一段/三段/ページ片面 | 3万円 |
| A4版 名刺サイズ/一段/三段/ページ片面 | 1万円 |

↓お申し込み先：名簿部 白石 英行

フアックス ☎03-5211-5115

又は email bunkyo@mail.ne.jp で仮申し

込みをお願い致します。仮申し込み後、広告記載用紙をお送り致します。

※締め切り平成18年12月25日

■個人情報保護について

平成17年4月1日に同窓会長を中心として、個人情報保護委員会を設置し、同窓会における個人情報管理に関し、適切な運営を図る為に「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を策定して参りました。

その後一年をかけて、データの管理等を行う業者選定に入り、この度平成18年4月1日をもって「慶昌堂印刷(株)」と本同窓会との間に「東京学芸大学附属竹早中学校同窓会名簿の作成・管理等に関する覚書」を締結致しましたのでご報告致します。

今後とも、会員皆様の個人情報の保護と取り扱いに万全を尽くして参りますのでご理解の程宜しくお願い致します。

東京学芸大学附属竹早中学校 同窓会名簿の作成・管理等に関する覚書

「個人情報保護に関する特記事項」は省略。

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会(以下「甲」と称す)と慶昌堂印刷株式会社(以下「乙」と称す)とは、甲の同窓会名簿の作成・管理等にあたり、以下の条項について合意する。

△業務▽

1. 甲は同窓会名簿の発行につき、乙をその印刷業者として指定し、甲に属する会員の氏名・住所・電話番号・出身校・勤務先・メールアドレス等の情報(以下「本情報」という)を含む名簿を乙に提供する。

2. 乙はこれを受託し、編集、印刷、製本、発送、納品を行う。

3. 乙は上記2の業務に付随して発生する以下の業務を、併せて受託する。(以下2と3をあわせて「本業務」という)

- (ア) 名簿内容のデータの保管・管理
- (イ) 名簿内容のデータの修正並びに補填
- (ウ) クラス会等の名簿抽出作業
- (エ) 同窓会開催にあたっての発送(配布)先宛名のラベル作成
- (オ) その他、名簿データを利用して発生する仕事

4. 乙が本業務を行うについて、甲は情報の提供、データ内容の変更指示などを適

時適切に行い、甲乙互いに齟齬を生じないように留意する。

5. 乙は甲の指示に従って正確に修正を行い、當時最新のデータを整備しておく。

6. 名簿内容の校正・確認は甲の各年次委員が行い、さらに甲の総務部がこれを校正にする責を有する。

(ア) 乙は保管するデータが変質しないよう、細心の注意を払い、万全の措置を講ずる。

方法：内容データはネットワークより切り

離されたハードディスクと光磁気ディスクの両方に同様データを保存し

ておき、データクリーニングは年一回発行の同窓会報発行時にハードディスク側データで修整作業を行い保存し、バックアップデータとして光磁気ディスクにも保存、正・副両方の整合性をはかる。また5年おきに

発行されている同窓会名簿も上記データを

使用し、同様の作業と双方への保存を行い保管管理する。

7. データの保管、管理は乙が行うが、データに関する一切の権利は甲に帰属するものとし、その改訂、増補は甲の責において行う。

△費用▽

1. 乙は入力につき1データ△①年次委員

マーク(1学年2〜4名程度)、②氏名(旧姓)、③郵便番号、④住所、⑤電話番号、⑥出身校、⑦勤務先(電話番号)⑧メールアドレス△の料金を単価80円と

して見積もり、甲に提出してこれをお互い合意した。

2. データの年間保守料金並びに宛名ラベル作成料については別途見積書を乙が提出し、甲乙協議の上決定する。

3. 同窓会名簿の印刷製本に關しても2項と同様の手続きを行う。

4. 係る費用の支払いについては、乙の定める支払条件に準拠するものとする。

△業務の継続▽

5. 本業務を継続するにつき、甲または乙の何らかの都合により、解除もしくは継続不可能になると想定される場合は、可及的速やかに甲乙互いに告知を行い、收拾策を協議し、円満解決を図るものとする。

6. 天変地異など、不可抗力による本業務の履行遅滞および履行不能については、甲乙互いにこれを糾問しない。ただし、修復については甲乙協議の上、損失を最小限にとどめるよう、互いに合意点を見出す最善の努力を行う。

△有効期間▽

1. 本覚書の有効期間は、本覚書手交日より1年間とする。ただし期間満了3ヶ月

前までに甲乙いずれかによる何らかの意思表示がない限り、本内容は1年間延長するものとし、以後も同様とする。

△協 議▽

1. 甲と乙とは互いに信義誠実をもって本覚書の内容を履行し、本覚書の内容に疑義を生じた時、または本覚書に定めのない事項に關しては、甲乙で別途協議し、円満に解決を図ることとする。

平成17年度同窓会総会報告

平成十七年七月二日(土)午後、母校竹早中学校と併設の竹早小学校ランチルームにて、同窓会総会・懇親会が開催されました。今回は昭和51年卒27期が担当学年として、同窓会理事の方々の多大なご協力を仰ぎながら、準備および当日の進行役を務めさせて頂きました。会場はここ数年ランチルームが続いていますが、やはり多感な時期に3年間通った思い出多い竹早の地での開催以外は考えられませんでした。



第一部の総会は例年通り、前年度事業および会計報告、今年度事業計画および予算案が承認され滞りなく終了。続いて第二部の懇親会へと移りました。我々27期を卒業時に担任して下さった、佐藤孝子先生、新海宣彦先生のほか、鈴木栄二先生、美術の竹内先生、保健室の永田先生といった既にお辞めになった先生方と、現役の先生、同窓生では大先輩から新入会員の高校1年生まで、多くの皆さまにお集まり頂き、懐かしい顔同士で歓談の花が満開になりました。♪たーけはーやあ台の朝ぼらけーえ♪

で始まる校歌は、1・2・3番の歌詞を多少混同しつつも完唱いたしました。ご参加、ご協力くださった方々には紙面を借りてお礼申し上げます。

懇親会終了後は会場を移し同期会を開催。卒業以来の再会となる友人も沢山いるなか、会場一杯に広がり所狭しと全員でフォークダンスを踊るなど、こちらも楽しいひと時でした。この日をきっかけに、半年後にはゴールインを決めたカッパブルも登場したことを申し添えて、皆さまへのご報告と、今年度の担当学年へのエールとさせて頂きます。

(27期 関口素子)

維持会費・同窓会支援 寄付金、ご協力のお願

同窓会経費は、入会金、維持会費、寄付金その他の収入金をもってこれにあてて(同窓会会則第22条)。17年度の支出は331万円、収入は345万円でした(17年度会計報告参照)。収入内訳は、入会金167万円、維持会費103万円、寄付金37万

円、その他38万円でした。維持会費は、2000円、同封の払込取扱票をご利用下さい。

会員各位の御厚志を仰ぐべくお願い申し上げます。

母校PTAの文化厚生部 からのお願い

例年行われている制服等のリサイクルを左記の要領で行います。ご協力下さい。

○現行の制服(男女共)、Yシャツ、ブラウス・ネクタイ・リボン、ベストなど。

○運動会(9/30)、同窓会総会・文研当日(11/10)も受付ます。

○柴田先生にお預け下さい。

○竹早中学校事務室宛の郵送・宅配でもお願い致します。

同窓会ホームページを活用下さい。
<http://www.takekazu-jhs-dousokai.net/>

同窓会常務理事会名簿

- 顧問 二瓶 好正(7)
- 会長 古谷順史郎(13)
- 副会長 田中 元次(2竹)、三嶋 明(13)
- 監事 高柳 良夫(3竹)
- 総務部 高昌 正子(7)、唐沢 俊樹(17)、白江 千治(26)、岩井 葉子(28)
- 広報部 荒川 睦(3竹)、田上 睦美(33)
- 名簿部 花見喜久子(13)、白石 美行(31)
- 会計部 正野 敬子(19)、永井真知子(19)、石黒由香里(26)

編集後記

「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」を実感していますが、長年、同窓会の発展に尽力下さった大場元会長がご逝去されました。鈴木栄二先生のお悔やみのお言葉を頂戴することが出来ました。

来年度(2007年)には、新しい同窓会名簿が発行されます。「個人情報保護について」(名簿部より参照)、皆様のご協力が必要です。これを機会に昔の仲間との交流を深めてみませんか。

フレッシュな情報は、同窓会ホームページ(「広報部より」参照)を活用して下さい。